

JICAの参加したCOP27サイドイベント （「フォレストカーボンセミナー：COP27等報告会」）

JICA地球環境部 森林・自然環境グループ

野田 英夫

2023年1月25日



森から世界を変える
プラットフォーム



サイドイベント一覧

	実施日時（現地時間） ／場所	イベント名	主催・共催者
1.	11月10日（木） 11：45～12：45 Japan Pavilion	衛星観測は、森林のモニタリングと管理をどのように向上させることができるか？	宇宙航空研究開発機構（JAXA）／ JICA／ ケニア共和国環境森林省（当時）＊ ケニア共和国森林公社
2.	11月16日（水） 10：30～11：30 Congo Basin Climate Commission Pavilion	持続的泥炭地管理：コンゴ盆地国のビジョンと連携機会	FAO／ UNEP／ コンゴ共和国環境持続的開発省
3.	11月16日（水） 13：00～14：00 Africa Pavilion	森林と景観回復を通じたNDC実施の加速のためのアフリカにおけるREDD+への資金供給	African Union Development Agency –NEPAD（アフリカ連合開発庁）／ ケニア共和国環境森林省（当時）＊／ UNDP／JICA

＊（現）ケニア共和国 環境 気候変動 森林省（2023年1月から）

「衛星観測は、森林のモニタリングと管理をどのように向上させることができるか？」

- 日時：11月10日（木）11：45～12：45（現地時間）
- 主催・共催：宇宙航空研究開発機構（JAXA）／JICA／ケニア共和国環境森林省（当時）／ケニア共和国森林公社
- 目的：地球観測衛星による観測が、森林モニタリングの向上にどのように貢献し、世界の気候変動の緩和と適応のために寄与しているか紹介する。また、各国の取り組みについて情報を交換する。



パネル・ディスカッションの様子



会場の様子

内容	発表者
開会挨拶	タヌイ氏（ケニア共和国 水源庁CEO）（ングエノ氏（ケニア共和国環境森林省事務次官）代理）
基調講演「JAXAによる森林モニタリングと管理について」	須藤氏（JAXA主任研究開発員）
パネルディスカッション ・ケニア共和国におけるREDD+に向けた進捗について ・各国における衛星観測データのモニタリングへの活用事例の紹介 ・課題の共有（システムを運営するための資金の確保、人材育成等）	＜進行＞ンデュアティ氏（ケニア共和国 森林公社）（JICA技プロ* コンポーネントマネージャー） ＜登壇者＞ ・ギチュー氏（ケニア共和国環境森林省） ・シラヨ氏（ケニア共和国森林公社） ・オメド氏（UNDP 環境・回復力ユニット） ・ロバーツ氏（FAO、IMPRESS（UK-PACT）） ・マルゴノ氏（インドネシア共和国環境林業省森林資源インベントリー & モニタリング局） ・マクアクア氏（モザンビーク土地環境省森林総局）
閉会挨拶	川島氏（林野庁森林吸収源情報管理官）

総合司会：井上氏（JICA 技プロ*専門家）

*ケニア共和国「持続的森林管理・景観回復による森林セクター強化及びコミュニティの気候変動レジリエンスプロジェクト」（2021～2026）

「持続的泥炭地管理：コンゴ盆地国のビジョンと連携機会」

- 日時：11月16日（水）10：30～11：30（現地時間）
- 主催・共催：UNEP／FAO／コンゴ共和国環境持続的開発省
- 目的：世界でも最大規模の炭素貯留層の一つであるコンゴ盆地泥炭地の持続的管理について、政策・施策や科学の側面から議論を行う。国が決定する削減目標（NDC）や、自然に貢献する気候アクション（Nature Positive Climate Action）としての位置づけを確認する。



パネル・ディスカッションの様子

内容	発表者
講演1「コンゴ盆地泥炭の展望（気候目標の観点から）」	ベルヌー氏（FAO自然資源シニアオフィサー）
講演2「コンゴ盆地泥炭（Congo Peatの取り組み）」	サイモン氏（英国リーズ大学 教授）
ビデオレター「日本のコンゴ盆地泥炭保全支援」	野田氏（JICA地球環境部森林・自然環境G長）
講演3「コンゴ共和国の泥炭地保全の取り組み」	ノノー氏（コンゴ共和国環境持続的開発省大臣）
講演4「コンゴ民主共和国の泥炭地保全の取り組み」	バンブタ氏（コンゴ民主共和国環境・持続可能開発省泥炭コーディネーター）
講演5「インドネシアにおける泥炭地保全の取り組み」	ブディ氏（インドネシア共和国 環境林業省泥炭荒廃対策局局長）
Q&Aセッション	

<司会> コパンスキー氏（UNEPグローバル泥炭コーディネータ）

動画：<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=Ssgf-I27yZ4>

「森林と景観回復を通じたNDC実施の加速のための アフリカにおけるREDD+への資金供給」

- 日時： 11月16日（水） 13：00～14：00（現地時間）
- 主催・共催： African Union Development Agency –NEPAD（アフリカ連合開発庁）／ケニア共和国環境森林省（当時）／UNDP／JICA
- 目的： アフリカにおけるREDD+の現状について情報を共有し、アフリカの森林を持続的に管理し、回復するための国際的な協力及び新しい資金調達手法について情報交換を行う。



会場の様子

内容	発表者
開会挨拶	<進行> ディアキテ氏（アフリカ連合開発庁） ・ フォタボンゴ氏（アフリカ連合開発庁プログラム革新・計画担当ディレクター） ・ ギチュー氏（ケニア共和国環境森林省保全局長）（ングエノ氏（ケニア共和国 環境森林省事務次官） 代理）
報告 ・ ケニア共和国のREDD+の進捗状況について ・ ケニア共和国の国家森林モニタリングシステム（NFMS）について	<進行> ニョカビ氏（UNDP） <登壇者> ・ ギチュー氏（ケニア共和国環境森林省森林保全局長、ケニア共和国REDD+コーディネーター） ・ ンデュアティ氏（ケニア共和国森林公社）
パネルディスカッション ・ 各国の状況 ・ 革新的な新しい資金調達方法についての情報交換	<進行> ニョカビ氏（UNDP） <登壇者> ・ オガレ氏（ナイジェリア連邦共和国 環境省AFRフォーカルポイント） ・ マクアクア氏（モザンビーク共和国 土地環境省森林総局） ・ コエチ氏（UNDP） ・ モリス氏（グローバル・エバーグリーン・アライアンス） ・ ガローサ氏（1MTN創設者） ・ トニオク氏（ケニア共和国 国家環境信託基金（NETFUND））
閉会挨拶 ケニア共和国の森林セクターにおけるJICAの貢献	井上氏（JICA 技プロ専門家）